

令和7年12月定例記者会見要旨

開催時間 令和7年12月25日（木）午前10時30分 302会議室

（総務部長）

12月の定例記者会見を開始します。

（市長）

今年最後の定例記者会見となります。よろしくお願いいたします。

最初のトピックスは諏訪市重大ニュースを発表させていただきます。

■諏訪湖に新たな玄関口 諏訪湖スマートIC開通！

○諏訪湖スマートインターチェンジの市民見学会を開催（7/6）

○諏訪湖スマートインターチェンジの供用を開始、開通式典を開催（7/27）

■コンパクトシティ化計画が順調に進行中

○駅前交流テラスすわっチャオの入館者が100万人に到達（2/10）

○諏訪市文化センター運営検討委員会発案「アオハルminiコンサート in 文化センター」を開催（3/20）

○諏訪市芸術祭関連イベント「市川笑野 歌舞伎講座 女方ができるまで～舞踊実演」を開催
／上諏訪駅周辺のミライを考える講演会「構造と情景から考える都市のデザイン」を開催（4/29）

○諏訪市文化センターの緞帳の特別公開を実施（6/22）

○諏訪市文化センター大規模改修工事に着手（8/26）

○上諏訪駅周辺地区整備基本構想策定に向けた社会実験「駅前エリアチャレンジ2025」を開催（9/27～9/28）

○諏訪大社上社本宮周辺地区街なみ環境整備事業がスタート（10/5）

○エキまちサロンを開催（毎月第3木曜日）

■装い新たに、全国初のトーナメント方式で復活 全国新作花火チャレンジカップ2025

○全国新作花火チャレンジカップを開催（予選：9/6、13、20、27／優勝決定戦：10/26）

■第13回プラチナ大賞 会長特別賞を受賞 すわ未来創造「子どもゆめプロジェクト」

○「よりそう」～みんなで考える多様な学びフェア～を開催（2/9）

○すわ未来創造「子どもゆめプロジェクト」キックオフイベントを開催（5/17）

○ゆめスクールフォーラム～地域とともにある学校づくり～を開催（5/19）

○すわ未来創造「子どもゆめプロジェクト」が第13回プラチナ大賞 会長特別賞を受賞（11/5）

○すわ未来創造「子どもゆめプロジェクト」 第3期『市長・教育長への提言』・修了式を開催（11/29）

○すわ未来創造「子どもゆめプロジェクト」が信州SDGsアワード2025を受賞（12/16）

■新たな地域公共交通「チョイソコかりんちゃん」 本格運行スタート！

○日本版ライドシェアの実証実験を開始（8/1）

○チョイソコかりんちゃんの本格運行を開始（10/1）

■諏訪市×伊東市 姉妹都市提携60周年記念事業を実施

- 諏訪市×伊東市 姉妹都市提携60周年記念事業 市民交流宿泊割事業を実施（5/20～8/15）
- 子どもたちの相互交流バスツアーにおいて伊東市を訪問（8/9～8/10）

■新たな時代へのトランスフォーメーションを加速

- オンサイトPPA方式での太陽光発電を開始（1/6）
- 公立保育園の施設面・機能面の再編方針を決定（2/7、12/3）
- 食の供給機能を継承する新たな仕組みへの移行 公設地方卸売市場が公設での運営を終了（3/31）
- 諏訪市健康経営宣言を実施／副市長就任式を開催／プラスチック類の一括回収を開始（4/1）
- 教育長就任式を開催（4/15）
- デコツウリズムin諏訪湖 オープニングイベントを開催（4/26）
- 諏訪市シティプロモーション特設サイト「すわまるっ！」を公開（5/1）
- 駅前交流テラスすわっチャオに期日前投票所を新設（7/18）
- 指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）を指定（7/28）
- 諏訪市役所インターンシップを実施（8/4～8/8、8/26～8/30）
- 出生届のオンライン提出を導入（10/1）
- 公共施設に設置したEV普通充電器での充電サービスを開始（11/17）

■湖周地区一般廃棄物最終処分場候補地に公募1件 審査へ

- 湖周地区一般廃棄物最終処分場候補地の公募を開始（3/21）
- 湖周地区一般廃棄物最終処分場候補地の公募の結果、1件の応募（8/29）

■駅前交流テラスすわっチャオ、すわっこランド、諏訪市総合福祉センター「いきいき元気館」皆さんに親しまれ節目を迎えた3施設

- 駅前交流テラスすわっチャオの入館者が100万人に到達（2/10）
- すわっこランド開館20周年記念式典を開催（4/6）
- 諏訪市総合福祉センター「いきいき元気館」の入館者が300万人に到達（12/17）

■諏訪の歴史・文化・自然が物語を彩る アニメ・映画・ドラマで諏訪地域の注目度がアップ

- 諏訪市文化財講演会「推し活しよう！徳川家を支えた諏訪家と墓所」を開催（3/20）
- 立石公園のライブカメラを増設（7/4）
- 立石公園の夏季混雑予想カレンダーを作成、公開（7/18）
- 立石公園に交通誘導員を配置（7/19）
- 映画「盤上の向日葵」を諏訪シネマズに認定（10/14）
- 映画「盤上の向日葵」が全国公開（10/31）
- 『よいさ！「逃げ上手の若君」 諏訪めぐり』デジタルスタンプラリーを実施（11/7～12/21）
- 映画「鹿の国」の公開1周年記念上映が決定（11/20）
- 諏訪市など諏訪湖周辺をイメージした架空の町が舞台となる2027年度前期 NHK朝の連続テレビ小説「巡（まわ）るスワン」の制作が決定（11/21）

○令和 8 年 新年賀詞交換会について

- ・ 仕事始めの日に当たり、市政に携わる関係者が一堂に会し、一年の始まりを祝うとともに、市の決意を新たに述べ、新年の挨拶を交わす（交換する）ことを目的としている
- ・ 日 時 令和 8 年 1 月 5 日（月）午前 9 時 30 分
- ・ 場 所 諏訪市役所 5 階 大会議室

○第 79 回 諏訪市消防出初式について

- ・ 日時 1 月 11 日（日）午前 9 時 30 分
- ・ 場所 諏訪湖イベントひろば・清水町体育館

○観光経済新聞社「第 39 回・にっぽんの温泉 100 選」について

- ・ 「にっぽんの温泉 100 選」で上諏訪温泉が 24 位（昨年 43 位）にランクアップしました【25 位以内に入ったのは初】。
- ・ 諏訪市観光グランドデザイン実現に向けて、観光庁の高付加価値化支援を始めとした各種取り組みが評価されているものと捉えています。

○市民課の窓口受付時間の設定（試行）について

- ・ 令和 8 年 2 月 2 日（月）から市民課窓口における受付時間を以下のとおり設定します。
午前 9 時 00 分 ～ 午後 4 時 30 分
令和 8 年 7 月までの 6 ヶ月程度の試行期間を設け、本格実施を検討します。
諏訪市では、各種証明書のコンビニ交付の利用促進、オンライン手続きの拡充等、デジタル技術を活用した利便性の向上を進めてきており、既に多くの方にご利用いただいています。市民サービスを低下させずに業務の効率化を図ることを目的として、窓口受付時間の設定を試行します。今回の取組を通じて、更に諏訪市役所では「来なくても済む」「来てもすぐ済む」行政サービスの実現に向け取り組むとともに、引き続き、市民サービスの向上に努めてまいります。

＜市民の皆様へお願い＞

- ・ 受付時間の設定は、市民サービスの質を維持・向上させ、かつ職員が働きやすい環境づくりを進める取組です。できるだけ午前 9 時 00 分 ～ 午後 4 時 30 分の間にご来庁いただきますようご理解ご協力をお願いします。
- ・ 戸籍関係の受付（婚姻、出生、死亡等各種届書の受領及び埋・火葬許可証の発行等）は、開庁時間は市民課、閉庁時間（土日祝日・夜間）は宿日直でこれまでどおり行います。
- ・ 各種証明書等の取得は全国のコンビニエンスストアのサービスをぜひご利用ください。

＜市民サービスへの影響と対応＞

市民サービスへの影響と、それに対する対応策は以下のとおりです。

●利便性について

- ・ 現状では全体の 9 割以上のお客様が午前 9 時～午後 4 時 30 分までの間に来庁されており、受付時間の設定による影響は限定的と考えられます。試行はこの取組の周知期間を兼ねているため、受付時間をご存じなく来庁された方には次回以降の協力をお願いし、柔軟に対応させていただきます。

<窓口改革の推進に向けた取組>

窓口受付時間の設定を通じて以下の取組を推進します。市役所の中でも最も多数の方が訪れる市民課における試行期間を通じて、全庁で同様の課題整理と窓口改革の取組を推進します。

●オンライン手続きの拡充と、来庁時の滞在時間短縮

- ・既にオンラインで可能となっている手続きについて周知を強化するとともに、更なる拡充を図り利便性を向上させます。すべてがオンラインで完結しない手続きについても、問合せや来庁前の準備をオンラインで行うことにより、来庁時の時間短縮を図る取組を検討します。
- ・諏訪市への転入、出生届、死亡届など、多くの課にまたがる手続きが必要になる際に滞在時間が長くなることが多いため、課題検討を進め時間短縮を図るための改善を行います。
- ・各種申請書の自動作成システムの導入検討を進め、「書かない窓口」の実現と事務処理速度の向上を目指します。

●全庁的な窓口改革へ

- ・市民課以外の窓口においても、市民サービス向上と職員が働きやすい環境づくりの観点で課題整理と窓口改革の取組を推進します。
- ・引越しワンストップサービス、オンライン出生届など、既にオンラインで可能となっている手続きが多数あります。市民課以外においても各事業における申込手続きや問い合わせ等を中心として電子申請を積極的に取り入れています。全庁では令和6年度末時点で市民、団体等向けにオンライン申請を可能とした手続きが231種類あり、引き続き拡充していきます。

○重点支援地方交付金について

(記者)

1年間様々な取材に対応をいただきまして、ありがとうございます。また来年もぜひお願いしたいと思います。

先ほど市長から国、県の総合経済対策関係のお話がありました。

住民税非課税世帯エアコン設置の支援、物価高対応子育て応援手当の給付、子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯分）、この3つに関しては専決処分を12月23日にされた。諏訪市独自の経済対策として、広く市民全体に行き渡る生活応援クーポンを想定されているということでしたが、これは商品券みたいなものと考えて良いのかということと、今、交付金の使途をめぐって政府は、おこめ券の活用を促していますが、諏訪市として活用するかしないかをお伺いします。

(市長)

諏訪市の独自施策ということで、1月下旬の臨時議会にお諮りする予定で検討中のものの中には、まだ名称は確定していませんが、生活を応援するためのクーポン券を用意したいと思っています。年末に行いましたデジチケは、クーポンの印刷や郵送など手続きにかかる経費を縮小できる新たな時代の技術を取り入れたクーポンですが、一部のご高齢の皆様から、やり方がなかなか難しいというお話を何件いただきました。そのため、今回は、デジタルと紙媒体両方でのような設計を考えています。それには、工夫が必要なので、研究をしているところです。このクーポン券をお配りするので、その中でお米を買っていただくことも可能と考え、特別におこめ券を配布するということは考えていません。

(記者)

臨時議会は、1月中旬以降か1月下旬とおっしゃいましたが、どちらですか。

(市長)

メニューの研究、組み立てをするのに一定の時間がかかります。中旬以降になろうかと思います。中旬以降に招集をかけられたらと思っています。

○諏訪市重大ニュースについて

(記者)

重大ニュースが発表になりましたが、改めて今年1年を振り返っての感想と、新年に向けての抱負をお聞かせください。

(市長)

今年は、社会全般で見ますと、諏訪市にとっては大きな災害等はなく、様々な事業が予定どおりに進められた年であったと、ありがたく思っています。

一方で、世界的な情勢はトランプ関税、各地の紛争の影響を受けながら大国間の緊張感の中で地域の皆さんや事業所の皆さんにおかれては、なかなか気持ちの穏やかならぬ状況もあったのではないかと思います。また、市民の皆さんにとりましても物価高と、それを上回る賃上げもあり、地方の中小企業においては、そうした課題についてもいろいろ苦労をされながら頑張ってこられた、そんな時代背景だったと捉えています。行政としては、そうした皆さんに心を寄せながらも、市として、第6次総合計画を基本に、幾つもの大きな事業を進捗してくることができたと捉えており、皆さんのご協力に感謝をしています。そんな中うれしいニュースも飛び込んでまいりました。高評価をいただいた温泉100選や賞をいただいた事業もありました。来年に向けてですが、この巳年、土の中から芽が土を盛り上げながら出てくるとようなイメージの年だと、当初申し上げましたが、来年午年は、エネルギーが大きく元気の出る年だと思いますので、そのパワーで皆さんと一緒に、取り組んでいけたらと期待をしています。

○定例記者会見のY o u T u b e 配信について

(記者)

今回から定例記者会見の動画のY o u T u b e 配信が始まるということで、その点についてもお願いします。

(市長)

何度かリハーサル的に、皆さんにもご協力をいただき一定の準備が整い、今回の会見からY o u T u b e で配信することになりました。記者クラブの皆さんにもご協力をいただき、ありがとうございます。まだ、私たちも慣れないので、できるだけ前を向いてカメラに向かって話さなければならないのですが、資料を読んだりしてしまして皆さんからいろいろご批評をいただく中でより良いものにしていけたらと思っています。

○重点支援地方交付金について

(記者)

3件の専決処分と、臨時議会に諮る議案の、二本立てになっていますが、財源というのは基本的には、先の臨時国会で決まった、国の重点支援地方交付金であり、両方ともこれを活用

するということですか。それを二つに分けるということですか。

(市長)

考え方として二つに分けるということよりも、できる事業からスタートしていくということです。当初予算に計上するものもあります。設計ができたところで、できるだけ早く支援したいので専決処分をして、そして臨時会を開催して、さらに、当初予算にも計上するという形で、重点支援地方交付金を活用してまいります。

○市民課の窓口受付時間の設定（試行）について

(記者)

市民課の窓口受付時間の短縮に関してですが、これは基本的に市民課で試行を始めということでしょうか、そのほかの窓口はまだ、現状のままということでしょうか。

(市長)

市民課で先行して研究をしてみいましたので、市民課の窓口から試行をスタートしますが、他の部署でもできるところから、トライアルをしていくということになろうかと思います。

2月の当初のスタートは、市民課だけでスタートします。試行期間なので、皆さんにもどのくらい慣れていただくかとか、どのくらい理解していただけるかとか、試行期間にデータを取りながら、市民の皆さまが困らないように対応し、時代に合わせた窓口対応にシフトしていけるように、助走期間を設けていると捉えていただきたいと思います。

○重点支援地方交付金について

(記者)

児童手当支給対象の関係ですが、ひとり親世帯の子どもというのは、1万円というのは上乘せという理解でよろしいですか。トータルで3万円ということでしょうか。

(市長)

国が児童手当支給対象児に対して2万円支給します。そして、別個のメニューとして、ひとり親世帯で、児童扶養手当の支給を受けている世帯に児童1人当たりさらに1万円ということになります。

○市民課の窓口受付時間の設定（試行）について

(記者)

窓口受付時間の関係で、電話の受付も、同じように9時から4時30分の対応になるということでしょうか。

(市長)

電話の受付は8時30分から5時15分までです。窓口での受付準備をしている時にお客様の対応がスムーズでなかったりする現状を整理して、9時から4時30分までに、お客様対応をしっかり丁寧に行うことを考えていますので、電話は、従来どおりです。

(記者)

災害時・緊急時等は柔軟に対応していただくということで、よろしいですか。

(市長)

しかるべき対応をします。

(総務部長)

1年間報道等についてご協力をいただきありがとうございました。

また、来年もよろしくお願いします。12月の定例記者会見を閉会します。